

薬害オンブズパーソン会議  
代表 鈴木 利廣 様

社民党幹事長  
福島 瑞穂

日々のご活動に敬意を表します。  
以下、質問に回答させていただきます。

1. 与党のご都合主義によるものと考えます。
2. 10月22日の議員運営委員会で全会一致で決まりました。
3. 賛成しました。ただし社民党では、「独立行政法人医療機器総合機構法」については、貴職と同様の問題意識を持っており、衆参を問わず、反対の立場から委員会質疑に臨みました。（特に問題の衆議院については、中川智子衆院議員の質問の会議録を同封いたしますので、ご参照ください）
4. 社民党は、薬害の再発を防止し、被害の救済の充実を図るためには、いかに薬害被害当事者らの意見を反映させるかが重要であると考えます。具体的には、新独立行政法人の諮問機関に複数の当事者を加えることなどがあげられます。
5. 先の臨時国会に引き続き、問題点や不明点については、衆・参両議院の厚生労働委員会等で追及してまいります。

以上